



# SAUNA・SPA

健康とやすらぎをクリエイトする

7月/372号

発行 社団法人日本サウナ・スパ協会  
TEL 03 (5275) 1541 (直)  
FAX 03 (5275) 1543  
〒102-0085 東京都千代田区六番町1

## 全国総会・東アジアスパ会議開催

(社)日本サウナ・スパ協会は6月28日、第17回全国総会を名古屋マリオットアソシアホテル16階ボールルームにおいて開催した。総会終了後は併催の第2回東アジアスパ会議に移り、海外からの参加者も交えた国際色豊かな会が催された。

### 全国総会

今年の総会は東アジアスパ会議併催のため正会員・賛助会員だけの通常総会とした。また、例年行われる賛助会員の展示会は会場の都合上開催できなかったが、大勢の皆様が参加した。

まず開催地を代表して愛知県支部の森信仁会長が歓迎の挨拶を行い、次いで協会定款第23条の規定により総会議長に中野憲一会長を選出、中野善治朗専務理事が総会成立を宣言し、議事録作成者を阿戸健次理事、議事録署名人に岡崎治樹理事と平井要子理事を指名して議事に入った。

「第1号議案 平成18年度事業報告の件」については以下の通り。

▼組織強化部会(報告:織茂明彦副会長)時代の流れに合わせ協会名称を変更◇11月29日浦安にて第14回全国オーナー・幹部研修会を実施◇会員拡大活動(現正会員165店、賛助会員41社)◇支部勉強会助成(延べ10支部に計428,000円)◇社員研修用全国共通入浴券の有効活用

▼教育研修部会(報告:佐藤有宏副会長)厚生労働省後援養成研修講座を開講(サウナ・スパ管理士:新規生11名、更新生計42名/同健康士:新規生18名、更新生計81名)◇管理者現場責任者の資質向上と知識習得のための教育研修および教材の紹介を実施

▼法規対策部会(報告:岡崎治樹副会長)自主管理基準を周知徹底◇国民生活金融公庫の利用案内の周知◇公衆浴場許可区分呼称変更について要望◇日本標準産業分類の見直し要請(特殊浴場を「その他浴

場」として性風俗業との分類の区別を要望)

▼広報事業部会(報告:林浩美副会長)月刊新聞「SAUNA・SPA」発行◇協会名称変更に伴い加盟店看板を新たに製作・貸与◇ホームページの刷新と充実◇「サウナ健康の日」啓発事業の実施◇「全国献血キャンペーン2006」の実施

▼国際交流部会(報告:米田行孝副会長)諸外国のサウナ・スパ機構との交流(第14回国際サウナ会議、第1回東アジアスパ会議に出席、タイランドヘルス&ビューティーショー2006に参加)

いずれも満場の拍手をもって原案通り承認された。

「第2号議案 平成18年度収支決算報告の件」は、会計担当の米田利勝副会長より説明後、協会監事の税理士・山野克己氏が監査報告を行った。

第2号議案も満場の拍手をもって原案通り承認され、総会を終了した。

### 東アジアスパ会議・交流会

小休憩を経て、第2回東アジアスパ会議に移った。全国総会に先立ち、11時よりホテルアソシア名古屋ターミナル9階にて各国代表者会議を終えていたため、本会は一般参加者との交流会として開催。

まず主催国の中野憲一協会会長が挨拶。中国商業連合会沐浴協会・劉南征副会長、韓国チムジルバン<sup>リュウナンチョウ</sup>スパ協会・魯宗涉<sup>リムジョンソプ</sup>会長、モンゴルスパ協会・D.デンスマー副会長の挨拶が続いた。

次いでご来賓の木村義雄衆議院議員より祝辞と今夏の参議院選挙比例区代表の福本アジア氏の紹介に続き、駐日タイ王国大使館商務公使・チラコム・キャティヤーコン氏からの祝辞を、タイ訪問の際は通訳



としてお世話になっているプラータナー・サンバンディッサクン女史が代読した。全国公衆浴場業生活衛生同業組合連合会からは関根幸副理事長より祝辞をいただいた。また、駐日フィンランド大使館リーサ・カルヴィネン参事官、マーケッタ・フォルセル国際サウナ協会会長からの祝辞メッセージが記念誌に掲載されている旨が伝えられた。

最後に、厚生労働省健康局生活衛生課・中垣英明課長をはじめとする祝電が披露された。

### 記念講演

休憩を経て、各国代表が自国の温浴事情について映像をまじえて講演した。中国商業連合会沐浴協会・劉副会長が中国スパの発展状況について、韓国チムジルバン<sup>リュウナンチョウ</sup>協会事務総長で、『月刊スパライフ』発行人でもある宋河永氏がチムジルバンの発展状況について、モンゴル・ゴビコンプレックスの紹介をY.シャター氏が行った(講演詳細は8面に掲載)。また、2008年北京オリンピックを控えて発展を続ける中国の温浴施設から3店舗の映像が公開された。

講演後、中野会長から次年度開催国であるモンゴルのデンスマー副会長に連盟旗が渡され、国際交流部会長を務める米田行孝副会長の閉会の辞で会議は終了した。



SAUNA・SPA 新聞へのご意見・ご感想をお聞かせください。協会ホームページでもご覧になれます。http://www.sauna.or.jp/

Kaneboは、

Kracieへ。

カネボウは、クラシエに生まれ変わります。

安心してお使いいただける品質を、  
これからも変わらずお届けします。




「カネボウ」「Kanebo」はカネボウ・トリムティ・ホールディングスグループ(事業会社:カネボウホームプロダクツ(株)、カネボウ製薬(株)、カネボウアース(株))、(株)カネボウIKSM研究所を含む)の登録商標。 (株)カネボウ化粧品並びにカネボウ(株)を指すものではありません。

# 第2回東アジアスパ会議


## 海外から43名が参加

6月28日、全国総会と同時開催で第2回東アジアスパ会議が併催された。昨年11月の北京にて行われた第1回会議よりバトンを受けた本協会は、愛知県支部の協力を得て無事成功をおさめることができた。総勢43名の海外からの参加者らも、今会議での国際交流と日本各地の温浴施設視察を通して自国での活動に生かせる絶好の機会となったであろう。




 中国商業連合会沐浴協会副会長 劉南征

皆様と再会を果たすことができ、本当に嬉しく光栄です。世界の温泉で、温浴の歴史を遡ってみますと、各国では各自の特徴を持っています。皆様の交流と連携が深く進んでいくことを通して、この大会を楽しみ、素晴らしい体験を共有し、東アジアの温浴ビジネスが発展することを心から強く信じております。

 韓国チムジルバンSPA協会会長 魯宗涉

現在のSPA産業は世界的レベルで過去に例のない人気を得ています。アジアの伝統、特に治療方法に対する欧米人の関心は日々高くなり、アジアは世界SPA産業の中心として発展しています。国ごとに違いはあるものの、私たちは東洋の文化的な伝統を共有しています。21世紀を迎え、私たちはSPA産業分野で新しいトレンドを開発していかなければなりません。身体と心の回復を主眼とする「東アジアンスパスタイル」というのを考えてみてはいかがでしょうか。

 (社)日本サウナ・SPA協会会長 中野憲一


東アジア各国には、国ごとに素晴らしい温浴文化の歴史があり、それを基にしながら急速に独自の発展をとげています。連盟活動による相互交流は、他国の温浴文化やスタイルを学ぶ絶好の機会であります。また、レジオネラ菌やノロウイルスなど衛生面は近隣国が一つになって対処していくべき課題であり、連盟設立の大きな意義を感じているところです。



▲歓迎祝賀会で乾杯の音頭をとる各国代表(左から中国・劉副会長、日本・中野会長、韓国・魯会長、モンゴル・デンスマー副会長)

東アジアは気軽に行き来できる文化圏です。アジアの人々の癒やしと健康に寄与するため、手を取り合って温浴産業を発展させてまいりましょう。

挨拶・祝辞は配布の東アジアスパ会議記念誌より抜粋し編集

 モンゴルSPA協会副会長 D. デンスマー

私共が掲げる目標は、お客様に快適な空間を提供することで確実にビジネスを拡大していくことです。このようにアジア各国の協会の皆様と交流ができて、多方面で新しいアイデアをいただくことができました。同業に携わる皆様にご協力いただき、誠にありがとうございます。来年は皆様をぜひモンゴル国にお迎えしたいと思います。



祝辞 国際サウナ協会会長 マーケッタ・フォルセル

国際サウナ協会は、各国のサウナに係わる団体、協会等の間を取り持つ「絆」的役割を持っています。その中で一つの大きな役割は、サウナとその健康関連の利点に関する調査研究を推進することです。そして主な目標のひとつとして4年に一度の国際会議を開催することが挙げられます。今回の第15回会議は日本で行われます。2010年、皆様にお会いできる日を心待ちにしております。



祝辞 全国公衆浴場業生活衛生同業組合連合会理事長 高橋元彰

日本経済も長い停滞のトンネルから脱して、ようやく好転に転じた旨の報道がなされております。しかし、中小企業の現場においては、その確かな足取りを実感するには厳しいものがあります。加えて温浴サービス業の多種多様化により需要増に結びつけるにはなかなか困難なものがあります。その現状打開に向けて、各々にさまざまな創意工夫を凝らされて営業の維持、継続に努められているとのことであり、その努力、ご尽力に対して敬意を表するものであります。



祝辞 フィンランド大使館参事官 リーサ・カルヴィネン

サウナはいまや世界中に広まり、国によって多少の違いはありますが、単に身体を清潔にするだけではなく全身をリラクゼーションさせる場所であると考えられています。「誰にも邪魔をされず、ゆっくりとくつろぐことができる場所」というのが共通認識です。私は日本でもそうであることを改めて実感し、嬉しくなりました。



祝辞 タイ国大使館商務公使 チャロム・キヤティヤーコン

タイのSPA産業は国の経済を底上げする産業にもなっており、SPA・サービス産業の促進のために、官民一体となってその発展に尽くしております。現代社会では、誰もが心身共にくつろぎ、ストレスから開放される場所を必要としています。東アジアSPA会議に出席された他の国々の特徴も生かし、日本の皆様にさらに満足されるサウナ・SPA施設が運営されますことを期待しております。



祝辞 厚生労働省健康局生活衛生課課長 中垣英明

東アジア加盟国の温浴業界の皆様方が一同に介され、相互の交流を深め質の高いSPA文化を創造することは、業界の発展という観点から誠に意義深いものとなります。皆様方の英知を結集され、新しい発想と創意工夫により、業界の一層の振興と衛生水準の向上に当たられますことを期待しております。



祝辞 衆議院議員 木村義雄

東アジアSPA会議が国際交流の要になっていきます。日本、中国、韓国、モンゴルの各国の相互交流と連携を深めることを信じて、特徴ある東アジアの温浴文化を創造し、さらに優れた人材の育成で手を携えることによって、世界のSPA業界を牽引するようなハイレベルの協力体制を構築されることを心より期待いたします。



平成19年盛夏

(紙上名刺交換会 順不同)



<p>横須賀建物株式会社 サウナトーホー</p> <p>代表取締役 織 茂 明 彦</p> <p>〒 238-0014 神奈川県横須賀市三春町 4-1 TEL 0468-26-1848 FAX 0468-26-1849</p>	<p>大和観光グループ 株式会社ジェム 神戸サウナ&amp;スパ</p> <p>代表取締役会長 米 田 利 勝</p> <p>〒 660-0011 神戸市中央区下山手通 2-2-10 TEL 078-322-1126</p>	<p>株式会社トーセン</p> <p>代表取締役 林 浩 美</p> <p>ラドン&amp;サウナ東泉 〒 110-0005 東京都台東区上野 2-14-26 TEL 03-3831-1322 (代)</p>
---	--	--

<p>サウナ&amp;カプセル 大東洋 サウナ&amp;カプセル アムザ リラックスプラザ 十三サウナ</p> <p>代表取締役 洪 里 勝 信</p> <p>〒 530-0015 大阪市北区中崎西 2-1-9 TEL 06-6312-7521</p>	<p>株式会社富士商事 サウナ&amp;カプセル フジ栄 リラクゼーションスパアペゼ</p> <p>代表取締役 森 信 仁</p> <p>〒 460-0003 名古屋市中区錦 3-22-31 TEL 052-962-5011</p>	<p>株式会社ワンディ・スパ</p> <p>代表取締役 中 村 惠 一</p> <p>〒 060-0005 札幌市中央区北五条西 2-5 JR タワーオフィスプラザさっぽろ 9F TEL 011-209-5191 FAX 011-209-5190</p>
--	--	---

<p>ニュージャパン観光株式会社</p> <p>代表取締役社長 中 野 佳 則</p> <p>〒 542-0071 大阪市中央区道頓堀 2 丁目 3-28 TEL 06-6211-0833 (代)</p>	<p>—OASIS SAUNA— <b>ASTIL</b> オアシスサウナ アスティル</p> <p>〒 105-0004 東京都港区新橋 3-12-3 TEL 03-5401-0356 <a href="http://www.ps-astil.co.jp">http://www.ps-astil.co.jp</a></p>	<p><b>DORMITINA SPA</b> ドルミティーナ・スパ</p> <p>ドルミティーナ・スパ 〒 105-0004 東京都港区新橋 3-12-3 5F TEL 03-5401-0584 <a href="http://www.ps-astil.co.jp/dormitina/">http://www.ps-astil.co.jp/dormitina/</a></p>
--	---	--

<p> コインロッカー・自動販売機・証明写真 株式会社フジ</p> <p>代表取締役 横 山 明 久</p> <p>本社 〒 116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-16-12 フジビル TEL 03-5850-4555 (代) FAX 03-3807-5252</p>	<p>貝印グループ</p> <p>代表取締役社長 遠 藤 宏 治</p> <p>〒 501-3992 岐阜県関市小屋名 1110 TEL 0575-28-3131</p>	<p>シック・ジャパン株式会社</p> <p>代表取締役 手 島 文 雄</p> <p>〒 141-8671 東京都品川区上大崎 2-24-9 アイケイビル TEL 03-5487-6801 (代)</p>
--	---	---

<p>株式会社クララ ボディ クリーン</p> <p>代表取締役社長 申 Shin 潤 Yun 玉 Ok</p> <p>〒 450-0002 名古屋市中村区名駅 4-23-9 MARUWA 名駅ビル 3F-A 号 TEL 052-541-7207 FAX052-541-7208</p>	<p>株式会社エーワン</p> <p>代表取締役 鈴 木 明</p> <p>〒 160-0022 東京都新宿区新宿 2-8-1 新宿セブンビル 1004 号</p>	<p>文英堂印刷株式会社</p> <p>代表取締役 畑 井 健 良</p> <p>〒 104-0042 東京都中央区入船 1-9-10 TEL 03-3552-5811 (代) FAX 03-3552-7609</p>
---	--	---

- (株)ヤクルト本社 TEL 03-3574-8946
- アサヒビール(株) TEL 03-3563-5721
- 委託派遣
- (株)日中医療会 TEL 042-748-1500
- (株)クララボディクリーン TEL 052-541-7207
- (株)エーワン TEL 03-3354-1044
- (有)ライフスペース TEL 03-5361-7061
- ニュージャパン・スパサポート(株) TEL 06-6211-9060
- 健康機器
- (株)日本プライダルセンター TEL 03-3562-7000
- POS 顧客管理関連
- ソフトシアター(株) TEL 03-5545-1300
- (株)リゾート POS 研究所 TEL 03-3681-4126
- (株)フューチャー TEL 本社 0776-52-3233  
東京 03-6379-7444
- 保険全般
- AIU 保険会社 TEL 06-4391-1000

- 印刷・出版・広告
- 文英堂印刷(株) TEL 03-3552-5811
- (株)天賞堂 TEL 03-3561-0101
- 綜合ユニコム(株) TEL 03-3563-0031




これが辛口、うまさが違う。

洗練されたクリアな味・辛口。

SUPER "DRY"

Asahi 生

スーパードライ

350ml

Asahi アサヒビール

ビール 飲酒は20歳になってから。ほどよく、楽しく、いいお酒。あきかんはリサイクル

アサヒビール株式会社

# 暑中お見舞い申し上げます

社団法人日本サウナ・スパ協会  
**会長 中野 憲一**  
 〒102-0085 東京都千代田区六番町1番町一番館ビル2階  
 TEL 03-5275-1541 (代) FAX 03-5275-1543

株式会社帯広サウナ  
**代表取締役 佐藤 有宏**  
 〒080-0010 北海道帯広市大通南18丁目11  
 TEL 0155-23-5757 FAX 0155-23-5581  
 E-mail: home-310@m2.octv.ne.jp

東洋健康ランド株式会社  
**代表取締役 岡崎 治樹**  
 本社 〒460-0022 名古屋市中区金山1-2-13  
 TEL 052-322-2241 (大代表)  
 岐阜店 〒500-8356 岐阜市六条江東3-5-2  
 TEL 058-272-1718  
 富山店 〒931-8325 富山市城川原1-1  
 TEL 076-438-0005

株式会社ウェルビー  
**代表取締役 米田 行孝**  
 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目27番33号  
 TEL 052-261-1401

ライフタイムズ株式会社  
 ライフタイムズ観光株式会社  
**代表取締役社長 中野 善治朗**  
 大阪本社 〒530-0027 大阪市北区堂山町9-5  
 TEL 06-6314-2186 FAX 06-6314-3367  
 小倉支店 〒802-0006 小倉北区魚町1-5-14 中央会館  
 TEL 093-531-0087 FAX 093-551-7197

埼玉レジャー産業株式会社  
**取締役会長 阿戸 健次**  
 〒330-0845 さいたま市大宮区仲町1-119-1  
 サウナ&ホテルパークプラザ大宮  
 TEL 048-643-6467  
 (社)日本サウナ・スパ協会理事、埼玉県支部会長

**江戸遊** 代表取締役社長 **平井 要子**  
 Aqua House EDOYU  
 株式会社 東新アクア  
 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1-5-12 東新ビル2F  
 TEL 03-3621-2617 FAX 03-3621-2618  
 E-mail: hirai@edoyu.com URL: www.edoyu.com

(社)日本サウナ・スパ協会  
 岡山県支部  
**会長 松田 次雄**  
 〒700-0904 岡山市柳町1-13-21  
 TEL 086-233-7351 FAX 086-221-1647

アジア総合企業株式会社  
**代表取締役 井上 義三**  
**取締役 事業部長 井上 徹哉**  
**取締役 池袋プラザ支配人 井上 智也**  
 〒171-0014 東京都豊島区池袋2-12-3  
 TEL 03-3590-7770 (代)

株式会社 **メトス**  
 (旧社名: 中山産業株式会社)  
**代表取締役社長 伊ヶ崎 征一**  
 〒104-0061 東京都中央区銀座3-11-5  
 TEL 03-3542-0333

株式会社トリリオン  
**代表取締役 木地 本朋奈**  
 〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-4 トキワビル4F  
 TEL 03-5434-7741 FAX 03-5434-7744  
 URL: http://www.trillion.jp/

**(F)** 温浴設備、可動式麦飯石サウナの設計・施工  
**不二熱学工業株式会社**  
**代表取締役 近藤 徹**  
 本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-1-1  
 TEL 06-6261-2436 FAX 06-6261-8307  
 東京支社 〒143-0023 東京都大田区山王2-5-9  
 TEL 03-6429-3600 FAX 03-6429-3606

キリンビール株式会社  
**代表取締役社長 三宅 占二**  
 〒104-8288 東京都中央区新川2-10-1  
 TEL 03-5540-3411 (代)

**Asahi** アサヒビール株式会社  
 アサヒビール  
**代表取締役社長 荻田 伍**  
 〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1-23-1  
 TEL 03-5608-5111

国際グランプリ受賞・社会文化功労賞受賞  
 全国マッサージ派遣業・九州サウナ協会賛助会員  
**有限会社九州療院**  
**代表取締役社長 谷川 弘**  
 東洋医学博士  
 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通5-23-3  
 東急ドエルアルス天神208  
 TEL 092-711-8821 FAX 092-711-8872  
 携帯 090-9793-7771



## 賛助会員 (敬称略、順不同)

- 設備全般
  - (株)メトス TEL 03-3542-6086
  - (株)コトブキ TEL 東京 03-5280-5650  
大阪 06-6443-8833
  - (株)トリリオン TEL 03-5434-7741
  - ヒサモト産業(株) TEL 03-3308-8003
  - 不二熱学工業(株) TEL 03-6429-3600
  - (株)東京光商事 TEL 03-3857-1111
  - (株)フジ TEL 03-5850-4555
  - (有)ステージ TEL 052-249-6860
  - 北海道オリンピック(株) TEL 011-786-9292
  - (株)データサポート TEL 03-3760-7041
  - サイエンス(株) TEL 048-665-7733
  - (株)アクアエンタープライズ TEL 03-3433-4177

- (株)ホーキング TEL 03-3984-2530
- 温浴用品全般
  - 貝印カミソリ(株) TEL 0575-28-3136
  - (株)和泉屋 TEL 052-231-5017
  - ニシカワヤ(株) TEL 052-412-3059
  - (株)アンドウコーポレーション  
TEL 052-795-2322
  - アサヒ(株) TEL 本社 06-6329-5181  
東京 03-3568-6801
  - シック・ジャパン(株) TEL 03-5487-6801
  - (株)日祥商会 TEL 03-3974-0711
  - (有)効仙薬湯本舗 TEL 046-251-7566
  - (株)丸織 TEL 092-504-2001
  - (株)千代田 TEL 052-331-7100
  - (有)日祥埼玉 TEL 048-222-2810
- 飲料関係
  - 大塚製薬(株) TEL 03-3292-0318
  - キリンビール(株) TEL 06-6447-7120

## 「温泉施設爆発事故」を教訓に、より安全な施設づくりを

6月に起きた東京都渋谷区の温泉施設の爆発事故は、温浴業界、特に温泉事業者を震撼せしめた。

東京都がこのたび調査した内容によると、都内温泉施設130施設のうち、ガス検知器を設置しているところは9施設にとどまり、天然ガスの定期検査をしている施設も9施設のみ、温泉からガスを分離するガスセパレーターを設置しているところは約2割の24施設であった。また、ポンプなどの汲み上げ装置が屋内にある56施設のうち、換気装置があるのは28施設のみであったという。この結果を踏まえ、都は独自のガイドラ

イン作りに乗り出している。

事故以来、安全措置の見直しを業者に依頼する施設が急増し、探知機はバカ売れしていると聞かすが、従業員とお客様に安全責任を負う事業者の立場としては当然の行動と言える。

今回は、千葉県の地下に広がる天然ガスを採掘して安全なクリーンエネルギーとして供給している天然ガスのプロ、合同資源産業(株)企画部副部長・樋口康則さん(写真)に話をうかがった。



聞くところによると、温泉を掘削しようとしていたオーナーさんが、今回の事故を知って温泉は危険と考え、計画を断念するケースもあるそうです。ガスの特徴を知りさえすればお分かりになると思いますが、むやみに危険視する必要はありません。

### 地中の変化にも注意を

最後に、見落としがちな点を挙げると、近隣で温泉を掘削するとか地震があった場合などは、湧出するガスの量や組成が変化する場合がありますので、注意してください。温泉の温度の変化なども地中の変化のバロメーターです。「いつもと違う」と感じるものがあつたら、再度ガス状況の検査を行うようにしたほうがいいでしょう。

### ガスの特徴さえ知れば、むやみに危険視する必要はありません

千葉県を中心に茨城、埼玉、東京、神奈川におよぶ南関東一帯の地下には、日本有数のガス田である「南関東ガス田」が広がっています。

そのガスの組成のほとんどがメタンガスで、地下1000mでは水1立方mに2.5立法m溶け込んでいますが、地上に汲み上げる段階で地上に近づけば近づくほど、水中にソーダの泡のようにメタンガスが発生してくるのです。

掘削する場所、深さ、周囲の環境によってガスの量は予測が付きませんが、温泉を掘ることは天然ガスも一緒に付いてくるものだ、と覚悟を決めて対策を立てる必要があります。

### ガスの組成を知る

まず、温泉を掘って揚湯試験(湯量の試験)をする際に、ガスの分析をして、その組成を知る必要があります。

日本で産出される天然ガスは、メタンガス、プロパンガス、ブタンガスなどですが、関東の場合は水溶性天然ガスのメタンガスのことと考えて、まず間違ありません。その特徴は比重の軽さにあり、ガスの中では非常に扱いやすいとされています。

というのも、ガスの発生場所、つまり井戸が屋外にありさえすればガスは大気に溶け込み上昇するため、ガス爆発の危険はなくなるわけです。しかし、渋谷の施設のように限られたスペースでの温泉運営となると井戸を屋外に置くスペースが取れず、屋内に設置せざるを得なくなります。その場合に、温泉と一緒に湧き出るガスに対する認識がないと、今回のような危険は免れられません。

温泉水と一緒に湧出する天然ガスを分離する「ガスセパレーター」の設置が義務づけられています。ガスが屋内に湧出しても煙突をつけておけば、爆発という惨事は回避できます。

### 電気関係は防爆型を

いずれにしても部屋の一番高い場所に検知器を設置することは当然ですが、今回の事故のように屋内にガスが湧出してしまう可能性がある場合は、照明や点滅器、電動機などの電気関係には防爆型(引火しないように、火花がまったく出ない電気器具)を用いていないと、充満したガスは電気わずかな火花で引火し爆発する危険性が大きいので、天然ガスを扱っている人間からするとその管理の甘さに驚かされるばかりです。

### メタンガス 管理のポイント

- ①基本的に井戸は屋外に
- ②ガスセパレータを設置する
- ③部屋で一番高い部分に検知器を設置
- ④煙突で換気する
- ⑤定期的に業者による検査をする
- ⑥近隣に井戸や温泉の掘削があつたり、地震などがあつたら、念のため検査をする

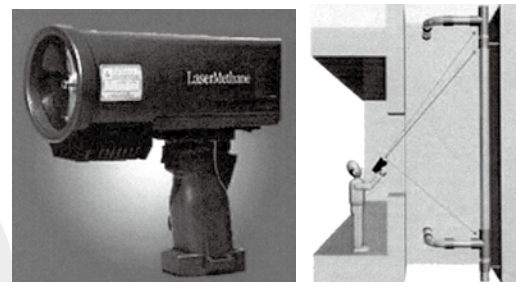
### 天然ガスの有効利用はできないものか?

国土の地下にこれほど大量の天然ガスが眠っているのなら「それを有効利用できないものか」と考えるだろう。しかし、天然ガスは鉱業法という法律で管理されており(ちなみに温泉は温泉法)、鉱業権という権利がないとこのガスを有効利用できないことになっている。特に首都圏では地盤沈下防止のために鉱業権を与えていない。都内の京急線沿線にある事業所が天然ガスを有効利用しているとニュースなどで流れたが、これはもともと鉱業権を有し継続した既得権を持つ企業であり、例外とみなされている。

温泉大国の日本に水溶性ガス鉱床がこれほどあることはあまり知られていない。図からもわかるように東日本に多く分布されている(日本における水溶性ガス鉱床のおよその分布範囲 天然ガス鉱業会発行『水溶性天然ガス総覧』より引用)



### メタン対策の スグレモノ



メタンおよびメタンを含むガスを遠隔探知する装置(写真左レーザーメタン探知機 SA3C05A)。約30m以内の遠隔探知が可能であり、オプションの反射板と反射塗料と共に用いると約150m以内の長距離遠隔探知が可能になる。レーザー光を検査箇所に向ける光学的な探知方法(右図)で、高感度かつ高速応答(0.1秒)でメタンガスに反応する。

サウナ・スパ管理士／サウナ・スパ健康士 登録者発表

祝 今年も以下の資格取得者の方々が8月1日付で登録される。有効期限はいずれも平成22年7月31日まで。登録証と身分証は7月末までに本人あてに送られる。

Table with columns for registration numbers and names, categorized by 'サウナ・スパ管理士' and 'サウナ・スパ健康士' with sub-periods like '第12期 新規生' and '第9期 更新生'.

東京都支部より

「平成19年度支部総会」を開催

東京都支部(林浩美会長)は6月28日、「平成19年度 東京都支部総会」をホテルアソシア名古屋ターミナルにおいて開催しました。東京都支部では全国総会になるべく多くの会員が参加してほしいとの趣旨から、例年全国総会にあわせて支部総会を開催しており、今回は25名(ほかに委任状19通)が参加しました。

斉藤楨三副会長の開会の辞に続き林浩美会長の挨拶があり、林会長を議長に指名して議事の審議に入りました。

まず、平成18年度事業報告、決算報告、監査報告について、満場一致で承認されました。

会則の変更案では、役員について理事の総数を15名以内、監事2名とし、役員任期を2カ年とすることで承認されました。

役員改選については、井上義三常務理事が副会長(写真右)に、原島敬之監事が常務理事に、アジア総合企業(株)井上徹哉氏が監事にそれぞれ就任し、飯沼晃理事が退任するとの案が提出され、満場一致で承認されました。



また、平成19年度事業計画案、収支予算案について説明と提案がなされ、原案通り承認されました。

林議長より議事がすべて終了した旨の宣言があり、井上義三新副会長の閉会の辞で総会を終了しました。



サウナ あれこれ 延長戦

第24回 日本のサウナ史① 戦前、日本にサウナはあったのか

中山真喜男 サウナ・スパ管理士講師

文献によっては、シベリア地方にあった半地下式の熱気浴が朝鮮半島に伝わって汗蒸となり、それが日本の八瀬の釜風呂となり、瀬戸内海沿岸の石風呂となったとする説があり、ひとくりに今のサウナのようなものと説明されています。このような見方からすれば、日本には古代からサウナがあったことになりませんが、ここでは伝統的なフィンランド・サウナがあったかどうかで考えてみたいと思います。

今でこそフィンランドへはジェット旅客機に乗れば十数時間で行けますが、戦前は長い困難な船旅しかありません。人の交流さえ少なかったでしょうから、サウナが日本に入っていたとは思えません。フィンランドと日本の国交を簡単にみえますと次の通りです。

- 大正6(1917)年 フィンランド独立
大正8(1919)年 日本との国交関係樹立 フィンランド公館設立
昭和19(1944)年 第二次世界大戦末期、外交関係断絶
昭和27(1952)年 日本の独立回復と同時に総領事館設立、5年後公使館となる

昭和37(1962)年 大使館となる
戦前は公館といっても間借り生活だったので、サウナはないと思います。フィンランド大使館に問い合わせてもはっきりしませんが、サウナが付いたのは大使館になってからのようです。

日本の文献上でサウナのことが一番初めに記されたのは、私の知る限り昭和4(1929)年『日本風俗史講座 10巻 風呂』(中桐確太郎著)においてです。内容は大旅行家デュ・シャアユ(Paul B Du Chaillu)の著書『中夜日出国』(The Land of Mid-naight Sun 1881年版)からの抄出ですが、サウナのことは「浴舎(Sauna)」と記されています。サウナ小屋の外観やサウナ室の内部の図版(文献や業者のカタログなどでよく目にした)も載っており、サウナの紹介や使い方、自らも地元の人たちと一緒に入浴した体験が述べられています。もちろんサウナはスモーク・サウナです。

2年後の昭和6年に『東西沐浴史話』(藤浪剛一著)が出版されています。サウナについても記されているのですが、サウナという言葉は出てこないで「蒸風呂」と書かれています。「土耳其風呂と魯西亜風呂」(トルコ風呂とロシア風呂\*)

の項の中で、「北欧の地にも古くから蒸風呂が行なわれた。殊に芬蘭土(フィンランド\*)のは有名である」として「土人は此の蒸風呂を尊厳なものに取扱う風がある」などとも記されています。この当時、魯西亜風呂というのは聞きなれた言葉であったようですが、「サウナ」という言葉は知らなかったのか、文献の絵などを見ても魯西亜風呂との区別がつかず、ただの蒸風呂にしてしまったとも思われます。

私にしてもサウナという言葉聞いたのは昭和39年です。東京温泉のサウナも、ずっと蒸風呂だと思っておりました。100℃の部屋に入ると言われても理解できなかったものです。ついでに言わせてもらえば、この頃(昭和39年)の知り合いの一流商社マンも、設計事務所の先生方も、サウナについて知っている人はいませんでした。

というようなことで、浅薄な私の推定では、戦前には日本にフィンランド・サウナはなかったということになります。また一部の専門家や研究者以外は、サウナという言葉も、フィンランドという国についてさえも知らなかったのではないのでしょうか。
\*読み仮名は著者記

## 東アジアスパ会議 記念講演要旨

今年の講演テーマは、東アジアスパ会議を受けて各国の温浴事情についてだった。ここではその要旨をまとめた(中国・韓国の講演詳細は配布の記念誌に掲載)。

## 温浴の歴史と現状

中国商業連合会沐浴協会副会長 劉南征

中国の温浴の歴史は3000年ほど前まで遡り、長い歴史を経て独自の中国式温浴文化が形成されてきました。1990年代以来、急激な中国経済の成長のなか、温浴産業も大きく拡大をとげました。



現在の中国温浴産業の主な特徴は、①温浴施設数が急増(約10万社、従業員数1000万人)、②業態の多用化(サウナ、ボディケア、足裏マッサージなど)、③多目的温泉施設(「浴場、飲食、マッサージ」へ発展し、「健康、美容、癒やし、憩い、社交の場」を提供できる施設になりつつある)、④大型化で専門会社が誕生(何千萬元の資本、数万㎡規模の超大型施設やチェーン店展開)しています。

中国には利用できる温泉総源泉が1400あります。温泉文化では「健康・養生」が最も重視され、娯楽と健康促進の相乗効果を引き出す考えを持ち、非常に有望な産業として発展しつつあります。温泉は全国に幅広く分布し、



海浜リゾートより利用料金が安くすみ「健康・養生」という旅行テーマと一致しているため集客力を持っています。余暇ビジネスにおいて、最も有望な産業のひとつの見方が出ています。

こうして温泉地が脚光を浴びるにつれ、施設周囲の環境整備やサービス向上、付加サービスの積極導入などを図る傾向がみられますが、これも中国の温浴ビジネスの発展の方向ではないかと思えます。

(記念誌より抜粋)



## 韓国のチムジルバン型スパ産業の現状

韓国チムジルバン協会事務総長・『月刊SPAライフ』発行人 宋河永

チムジルバンは韓国の新しいライフスタイルを象徴しており、新たな産業としてここ十余年の間に飛躍的な発展をとげました。1990年代中盤以降はチムジルバンの人気上がり、かつて主流だった小型銭湯は毎年10%前後銭湯減少しています。現在、国内チムジルバン施設は約3000カ所ありますが、競争に負け廃業する施設もあり、ここ3年間この数字に動きはありません。



チムジルバンとは、高温で汗を流すサウナルームであるハンジュンマク(汗蒸幕 写真)とブルガマ(火釜)、そして浴槽とシャワー、さらに多用なレジャー施設が入っている複合休息空間であり、韓国の伝統的な発汗療法に基礎をおいて、冷・温浴に交互に入ることを通じて健康と美容を追求してきた韓国人の好みによく合う施設です。

しかし、産業的な面は発展をとげていますが、法的、制度的な面が追いつかず、いろいろな問題に遭遇しています。一部業者は過当競争と過大投資によって困難を経験しています。今後、持続的に発展していく過程で、法制度の現実的整備、市場競争の安定化、グローバルスタンダードに合致するサービス体系の導入などが見込まれます。また、代替療法と現代医学、漢方医学的な治療領域が合わさった新しい形態のサービス空間を作り出す可能性もあり、消費者の知識水準が高くなるに伴い、もっと科学的で合理的なサービス体系を整備していくようになると思います。

基本的に大衆相手の施設ですが、長期的には個人サービスを強調する施設に進化する可能性もあります。国内で有力な休息ビジネスとして定着しましたが、諸外国にもモデル進出して成功をおさめることを期待しています。世界の流れを予測し、それをどう取り入れるかがカギとです。チムジルバンは成長中であり、進化中でもあるのです。(記念誌の抜粋に講演内容を補足しました)

## モンゴルのゴビサウナについて

ゴビサウナ・コンプレックス Y. シャター



モンゴルのスパの歴史はまだ新しく、現在発展中にありますが、我々の施設は1日200~250名を集客しています。首都ウランバートルの人口は100万人近くあり、海外からの観光客も増えていて、モンゴル経済は活発です。そして成長する分野のひとつにサウナ・スパがあるのです。

我々はいま、モンゴル人のお客様と外国人のお客様のために事業拡大をしているところです。ゴビサウナは、サウナ、ホテル、美容、フィットネスクラブの4つの事業分野で構成されています。サウナ施設には、アガテという石を使った部屋、酸素をより多く取り入れるための部屋、モンゴル独特の1000年以上の歴史ある天然岩塩石である塩壁を使った部屋、アメジストの部屋などがあり、バス、シャワーも整っています。ホテルは2007年5月にオープンしたばかりで、国際標準に合わせているためお客様から高い評価をいただいています。またフィットネスクラブは、高い品質を誇るアメリカ製の設備を揃えています。

詳しくは英語の表記もごございますのでホームページをご覧ください(<http://www.gobisauna.com>)。

サウナ・スパ事業は人々の心と身体を治すものです。我々は、我々の努力によって多方面で働く人々を支えられる事業だと思っています。(談)

## 韓国の施設紹介

イ・コンジュ



韓国では1999年からオンドルやチムジルバンを備えた施設の大型化が始まりました。しかしこれからは高級化や差別化を図っていかなければなりません。チムジルバンはひとつの建物内に映画館、ヘルス&ビューティー、食事処などいろいろ入っていますが、温浴施設の素材も重要ですがこうしたおもしろさや健康に寄与するものと複合化することも経営上重要となっています。

我々の施設では麦飯石はナモン鉱山の石を用いています。昔の韓国の台所で用いられていた釜焚きと同じ遠赤外線効果で、身体に良いという歴史があります。ブルガマの温度は底辺が200℃、最上部は500℃あり、ツボ押しと同じ効果があります。しかもツボ押しは何カ所も同時に押せませんが、ブルガマなら全身のツボを一度に押しているのと同様の効果が得られます。こうした温熱療法はがんにも効果があるとされていて、韓国KBSテレビで「冬を乗り切る温熱法」として紹介されました。(談)

## metos FLOAT PACK

それは、最上級の深い眠り

メトスフロートパックとは・・・

温熱療法と自然療法のトリートメントを組み合わせたボディパックです。暖められたウォーターベッドの上で、オイル・クリームを塗った体は、ラップで優しく包まれ、水の上に浮いているかのような平和な静寂な時間があなたに訪れます。

解き放たれる緊張

通常のベッドでのボディトリートメントと違って、同じ姿勢でラップされていても固定された感じではなく、水の上で浮いたような感覚を味わいながら、心も安らぎ、すべての緊張から解き放たれたような開放感とともに、温熱効果により筋肉や関節をリラックスさせる効果があります。コンパクトなサイズなので、(L:2210×W:1020×H:650)部屋にすっきり納まり、空間を有効に使えます。

※現在、サウナ協会会員などを対象に、セラピストによる本格的トリートメントの体験予約を受け付けています。お申し込みは、TEL:03-3542-0452(担当/奥村)まで(要予約)。

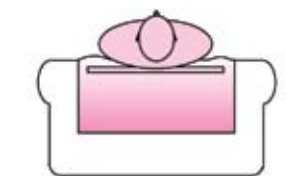


Fig: Before  
フロートパックの上に横になります。

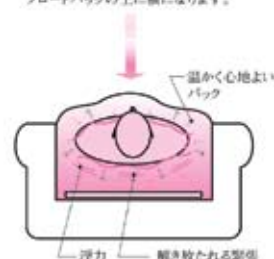


Fig: It relaxes considerably.  
身体が沈み込むと同時に、温かく包み込まれ、全身が浮いているようになります。



株式会社メトス metos.co.jp

●東京都中央区銀座3-11-5 03-3542-0333 ●札幌市中央区大通東7丁目 06-0041 011-272-3201 ●仙台市泉区泉中央3-18-4 981-3133 022-371-3550  
●大阪市西区本町1-6-6 550-0004 06-4803-0168 ●名古屋市千種区種田2-18-6 464-0074 052-763-2811 ●福岡市博多区比恵町16-26 812-0014 092-471-5801